

会 議 顛 末

令和7年度 第2回 富良野市国際交流審査委員会

日 時 令和8年2月25日 18:00～18:30

場 所 複合庁舎複合庁舎1階 文化会館リハーサル室

委 員 4名 原委員・山崎委員・桐澤委員・遠藤委員

事務局 4名 北川市民生活部長・奥田コミュニティ推進課課長・保勇市民協働係長・大内

1. 開会【事務局（奥田課長）】

2. 委員長挨拶

雪解けが早いみたいで、例年より1ヶ月位早く雪解けが進んでいるかと思えます。雪解け近くなりますと今日の議題にもあります、ちびっこ探検学校ヨロン島に富良野から子供たちが参加する季節になります。今回も6名の補助申請が上がってきたようであり、併せて国際交流補助実施要綱の一部改正ということで、皆様にお諮りすることになっているようございます。短時間でありませけれども、皆さんの活発なご意見を頂きたいと思えます。よろしくお願いいたします。

3. 国際交流事業報告

(1) 北海道旭川東高等学校令和7年度海外語学研修について

事務局より説明

遠藤委員長 旭川東高等学校に通っています小河君の参加報告になりますけれども、皆さんの方から何か質問があればお受けしたいと思います。

質問なし。

遠藤委員長 小河君の感想にも書いてありますけれども、今後に向けて経験を生かした地域への貢献ということを本人も思っているようですので、今後の活躍を期待したいと思います。

5. 議事

(1) 国際交流事業補助金審査について

第50回ちびっこ探検学校ヨロン島（国際交流人材育成活動） 6件 について

事務局より説明

遠藤委員長 事務局から説明がありました6名の子供たちが参加したいということで、申請が来ているところがございます。この件につきまして皆さんの方から質問等があればお受けしたいと思いますがいかがでしょうか。

質問なし。

遠藤委員長 特に意見が無ければ、この補助金の申請額で採決を取りたいと思えますがよろしいでしょうか。

全会一致で承認。

(2) 国際交流補助実施要綱の一部改正（案）について

事務局より説明

遠藤委員長 事務局から説明がありましたがご意見はありますか。

原委員 小学生・中学生の期間に使っても、高校生になったら又使えますよ、社会人になっても又使えますよということですね。

事務局 小学生・中学生の期間に1回、高校生や大学生等の期間に1回、社会人になって富良野に住んで住民票がある方についても1回、補助金を出してもいいのではないかと考えて、今回、提案させていただいております。

遠藤委員長 私から質問ですが、大学生で富良野以外の地域で住まれて、住民票を移動したよという方は対象にならないのですか。

事務局 富良野市に住民票がある富良野市民が対象となりますので、富良野市に住民票がない方は対象となりません。

遠藤委員長 住民票が富良野市になればダメということですね。

事務局 富良野市以外に住民票を移された方は対象とならないこととなります。

桐澤委員 高校生も富良野高校に通っているけれど、住民票が富良野市にない場合はダメとういことですね。

事務局 富良野高校に通っている、富良野市以外に住民票がある沿線の生徒さんは富良野市民ではないので対象とならないこととなります。富良野市の予算を使って補助していますので。

原委員 親が市民で子供が旭川の学校に通っている場合は大丈夫ですよ。

事務局 子どもの住民票を旭川市に移していなく、住民票が富良野市にあれば大丈夫です。

遠藤委員長 住民票が富良野市にあつて居住地が旭川市にあつても大丈夫ということですね。

事務局 実際の居住地は分からないため、基準が住民票ということなので住民票が富良野市にあれば該当になるということです。

遠藤委員長 後は、何かありますでしょうか。

なければ、審査委員会では異論がないということですので、後は、事務的に進めていただければと思います。

その他、皆さんの方から何かあります。

なければ、事務局から何かありますか。

北川部長 私から、情報共有ということで、富良野高校で令和8年度からオーストラリアの

学校と国際交流をするという予定が、今、組まれています。まず、オーストラリアの生徒が20人位来ていただいて、ホームステイしながら1週間位いるような話をしていました。逆に来年の冬位に富良野からオーストラリアの方にホームステイを兼ねて国際交流を行いたいという予定が組まれています。今までは、高校生が小学生の時にヨロン島に行っていた場合補助対象とならなかったのですが、今回の改正で、高校生でも補助を受けることができることとなります。今、国際交流は基金が積まれています、それが1億3千万あります。今後、国際交流事業を富良野高校が毎年行っていくということです。今回、市の補助金の上限が30万円ということですので、オーストラリアは行って帰って来るだけで飛行機代で30万円位かかります。それに滞在費が加わると結構高額な補助金になると考えられます。また、新年度になってから、皆さんにはご協議いただくことになると思います。前段に、校長先生ともう一人教員の方が事前視察に行きたいということです。今は、インターネットのズームでやり取りを行っているのですが、実際に行って協議を行いたいということです。事前視察では、国際交流事業で該当する所がなく、同窓会の所から補助してもらえないかと話をしています。また、行く生徒が皆富良野市の生徒であればいいのですが、富良野市以外の生徒が行くことになれば、差が出来てしまうが、それは、しょうがないことと私は思っていますし、そこは、それぞれの自治体で考えていただくしかないのかなと思います。先日、同窓会の会議の中でそういう計画があるということでしたので、国際交流に直結することですので、情報共有させていただきます。

遠藤委員長 その他ございますか。なければ、以上で第2回富良野市国際交流審査委員会を終了したいと思います。お疲れ様でした。